

担当	職業安定局庶務課		
	課長	木村	富美雄
	課長補佐	河合	諒二
	電話		593-1211 (内) 5713
	夜間直通		502-6768

公共職業安定所の愛称について

労働市場を取り巻く環境が激変する中で、公共職業安定所の果たす役割も変化をとげつつある。このような時代の変化に即応するため、総合的雇用情報システムの導入等により利用者の多様なニーズに迅速かつ的確に応えられるよう努めているところである。同時に利用者に対するサービスの向上を目指して、職員一丸となって、現在「さわやか安定所サービス運動」を展開しているところである。

このような中で、今後公共職業安定所が地域に根ざした機関として発展し、地域住民に一層親しまれる存在となることを目指して、公共職業安定所の愛称を8月から10月にかけて公募したところ、4,161点の作品の応募があった。部外有識者4名からなる選考委員会において審査の結果、下記の1点を優秀賞として決定した。

労働省では、この愛称を平成2年より広報活動等に活用し、より一層親しまれる安定所を目指して努力していくこととしている。

また、本愛称は、施設としての公共職業安定所の愛称であると同時に、公共職業安定所の窓口におけるサービス向上のための標語的な性格も併せ持つものであり、今後ともサービスの一層の向上に努めていくこととしている。

記

○ 愛称

「ハローワーク」

森藤卓郎氏（建築設計事務所経営、45歳、静岡県在住）の作品

○ 選考委員会メンバー

糸井重里氏（コピーライター）

高梨昌氏（中央職業安定審議会会長）

竹村健一氏（評論家）

畑 恵氏（ニュースキャスター）

（五十音順）

(参 考) 1

愛称の応募状況についてみると、応募件数4,161点のうち、男性からが74.0%、女性からが26.0%で、年代別にみると男性では40歳台からの応募件数が最も多く(19.9%)、以下60歳台(19.8%)、50歳台(19.3%)の順となっている。女性では20歳台からの応募が最も多く(27.0%)、以下30歳台(23.5%)、40歳台(19.2%)の順となっている。

職業別にみると、男性では会社員が最も多く(25.6%)、女性では主婦が最も多くなっている(37.4%)。

- 1 応募総数 4,161 点
- 2 男女別内訳 男性 3,078 点(74.0%)
女性 1,083 点(26.0%)

3 年代別内訳

男 性		女 性	
10 代	38(1.2%)	10 代	30(2.8%)
20 代	304(9.9%)	20 代	292(27.0%)
30 代	524(17.0%)	30 代	254(23.5%)
40 代	611(19.9%)	40 代	208(19.2%)
50 代	594(19.3%)	50 代	127(11.7%)
60 代	608(19.8%)	60 代	93(8.6%)
70歳以上	198(6.4%)	70歳以上	17(1.6%)
不 明	201(6.5%)	不 明	62(5.7%)
計	3,078	計	1,083

4 職業別内訳

男 性		女 性	
会社員	789(25.6%)	会社員	209(19.3%)
公務員	644(20.9%)	公務員	74(6.8%)
教 員	50(1.6%)	教 員	10(0.9%)
団体職員	140(4.5%)	団体職員	4(0.4%)
—	—	主 婦	405(37.4%)
学 生	88(2.9%)	学 生	49(4.5%)
その他	400(13.0%)	その他	79(7.3%)
無 職	470(15.3%)	無 職	83(7.7%)
不 明	497(16.1%)	不 明	170(15.7%)
計	3,078	計	1,083

() 内は構成比

1 統一字体について

愛称の字体として以下の字体を統一字体として使用することとする。

ハローワーク

(意味)「ハロー」という挨拶のことばに、出会いを大切にする職業安定行政の精神をこめた愛称の趣旨にならって、丸みを帯びたソフトな字体にするとともに、文字と文字の間をくっつけ、人と人のつながりを表した。

2 愛称決定に伴う行事について

作者表彰式及び看板授与式

○平成2年1月8日(月)9:30~9:45 於労働大臣室

○福島労働大臣より、愛称作者の森藤氏に表彰状及び記念品を授与、並びに新宿公共職業安定所長に愛称記載の安定所看板を授与。

(新宿公共職業安定所の概要)

① 所長 藤本里海(女性)
次長 図師侑英、清水典子

② 新宿公共職業安定所は、「職安通り」の安定所として親しまれており、新宿、中野、杉並の都内3区を管轄し、管内人口1,208,500人、事業所総数83,200社、1日の利用者数は1,000人と東京都全体の1割を占め、飯田橋公共職業安定所に次いで全国で2番目の業務量を有する公共職業安定所である。

特に本年7月24日より、新庁舎において業務を行っているが、総合的雇用情報システム等のコンピューター利用の業務処理にふさわしく、各種情報機器が自由に配置できるようフリーアクセスが可能なインテリジェント対応、外装については、従来の庁舎に例をみないガラス張りで、夜間、休日においても各種情報提供が可能なショウウィンドウとしての役割が果たせるよう工夫、レイアウトについても、さわやか行政サービスのモデルとなるよう、工夫をこらしており新しい時代に向けての「ハローワーク」を具現化した安定所であるといえる。